

全国最大規模の群集墳

平尾山古墳群

2006.7.8~8.27

を探る

ミニシンポジウム 「河内の四大群集墳」

7月22日(土)
午後1時~4時
中西克宏氏
(東大阪市立郷土博物館)
吉田野々氏
(八尾市教育委員会)
小浜成氏
(大阪府立近つ飛鳥博物館)
安村俊史
(柏原市立歴史資料館)

文化財講演会

7月29日(土)
午後1時~4時
太田宏明氏
(河内長野市教育委員会)
「横穴式石室からみた平尾山古墳群」
和田晴吾氏
(立命館大学教授)
「群集墳とは何か」

定員90名・参加費無料
申し込み不要

市民歴史大学 〔特別講演会〕

8月12日(土)
午後1時30分~3時
辰巳和弘氏
(同志社大学教授)
「古墳とは何か」

9月9日(土)
午後1時30分~3時
岸本直文氏
(大阪市立大学助教授)
「前方後円墳の変遷と系列」
定員90名・参加費無料
申し込み不要



柏原市立歴史資料館

休館日 月曜日
開館時間 9時30分~16時30分
入館料 無料
交通 JR大和路線高井田駅から徒歩5分
近鉄大阪線河内国分駅から徒歩15分

大阪府柏原市高井田 1598-1 TEL 072-976-3430



◀高井田山古墳



平野・大県

第27支群1号墳▶

かしわらし
柏原市東部を東山といい、東山一帯に分布している群集墳を平尾山古墳群とといいます。群集墳とは1,300~1,500年前に築かれた小さな古墳が密集している古墳群のことです。平尾山古墳群ではこれまでに1,400基あまりの古墳が確認されていますが、調査が行われているのはごく一部であり、おそらく古墳の総数は2,000基を超える全国最大規模の群集墳と考えられます。

よこあなしきせきしつ たかいだやまこふん はにわ もつかん
平尾山古墳群は、初期の横穴式石室をもつ高井田山古墳に始まり、同じころ埴輪をもち木棺を直接埋葬する古墳も築かれています。その後、横穴式石室をもつ古墳が次々と築かれていきました。そして、7世紀になると古墳が築かれなくなる群集墳が多いなかで、平尾山古墳群では7世紀になっても次々と古墳が築かれています。なかには後に皇族の埋葬施設として採用される横口式石槨や切り石を使った美しい横穴式石室もみられます。7世紀の中ごろになると、横穴式石室は築かれなくなりますが、それ以後も小さい石室などをもつ古墳が造り続けられ、火葬墓もみつかっています。

まいそう
それでは、この群集墳に埋葬された人々はどんな人たちだったのでしょうか。それは、よくわかっていないのですが、かんざしやミニチュア土器など渡来系氏族に関係あるといわれる副葬品が多数みつかっており、鉄製品を作るときに出た鉄くずのみつかる古墳もあります。これらの事実が埋葬された人たちを知るヒントになるのですが、これだけ多数の古墳が造りつづけられたのですから、さまざまな人たちが埋葬されているのではないかと考えられます。

▼安堂第6支群3号墳



▼雁多尾畑第49支群

